

それでは呼びかけを行います。

県内の新規感染者数は、7月28日以降、7日間連続で30人を超え、本日も67人と多数の感染者が発生をしています。

感染経路における県外由来の割合を見ますと、3週間前の7月13日の週では8.9%でしたが、次の7月20日の週では14.0%。直近の7月27日から8月2日の1週間では20.8%と、県外に由来する感染が増加し2割以上となっています。

重症者用病床占有率は10%と、急激な増加には至っていないものの、病床占有率は36.9%と増加傾向にあり、医療への負荷の増大が懸念される状況です。

直近1週間の10万人あたりの新規感染者数は、16.03人と、本日、ステージⅢの指標である15人を超えています。

全国の状況を見ますと、昨日8月2日時点で、28都道府県で人口10万人あたり新規感染者数が15人を超え、そのうち20都道府県がステージⅣの指標である25人を超えています。特に首都圏や都市部を中心に感染者数が増加しており、東京都では、新規感染者数が4,000人を超える日もあり、全国で1万人を超えるなど、これまでにない急速な拡大が見られます。

このような状況を受け、8月2日から首都圏3県、大阪府が緊急事態措置区域に追加指定され、また、近隣の京都府、兵庫県含む5道府県がまん延防止等重点措置区域として指定されました。

今、私たちは、第5波の入口に立たされている状況です。

この波を小さく短く抑えることができるよう、引き続き皆様おひとりおひとりが感染防止対策に気を付けていただくため、今日は県外移動に関するお願いと、感染力が強くなっていると言われている変異株、デルタ株の状況、それから後遺症、この3つについてご説明をさせていただき、感染防止対策についてお願いをさせていただきます。

(資料を掲示) これは現在の状況です。

さっき言いましたように県外の割合が、県外由来の感染だということが特定できるものが、こういうふうにとんどん増えていて、今20.8%という状況です。県外に由来している感染が増加していて、先ほど言いましたように、直近1週間において感染された方、県外が感染経路であると考えられる方と、感染経路が県外であるとは断定できないものの発症前の行動において県外との往来があった方を合わせると、29.8%の方が県外への行動歴がありました。

これからお盆など、帰省や旅行を計画される方も多くおられることと存じますが、感染が拡大し、厳しい措置がとられている緊急事態措置区域、まん延防止等重点措置区域、時短要請がなされているエリアへの移動は、生活の維持に必要な場合を除いて、避けていただくとともに、全国的に感染が拡大する中、厳しい措置を現時点で実施していない県にお

いても感染状況は悪化していますので、措置区域以外であったとしても、県域を越える移動は可能な限り控えていただくようお願いをいたします。

(資料を掲示)今申し上げましたように、県外由来の感染、それから県外由来の感染だと断定はできないものの、行動歴に県外との往来がある方、これを合わせると直近1週間で29.8%。3割の方が、こういう状況であるということでもありますので、この緊急事態宣言が出ている区域などとの関係では、生活の維持を除いての県外の移動は避けていただきたいと思っておりますし、先ほど言いましたように、昨日の時点で28都道府県、この中には三重県は入っていませんけど、28都道府県で人口10万人あたりの新規感染者数が15人を超えていると。20の都道府県でステージⅣの25人を超えているということですので、措置が行われない区域でも感染が拡大していますので、可能な限り控えていただくようお願いをしたいと思います。

続いて、変異株、デルタ株についてです。

本県では、感染された方について、デルタ株を含むL452Rという変異を持つ変異株かどうかを調べる検査を行っています。7月8日に初めてL452R変異株の陽性が確認された後、7月18日には14%であった陽性率が7月28日時点で51%と、10日間で40ポイント近く増加をしています。

また、関東地方において、7月中旬時点で陽性例のうち約70%がデルタ株と推定されるなど、全国的にデルタ株が増加をしています。

本県において直近1週間、7月21日から28日ですが、L452R変異株と判明した13事例では、県外、特に感染が広がっている地域での行動歴や、大人数長時間となる会食などで感染され、その後、家族や友人、職場に広がったと思われる事例が多く見られます。

また、行動歴、感染経路などで、四日市市に関連がある事例が7事例あります。

デルタ株の増加に伴い、すでに全国で感染者の急増が見られるように、第5波においてはこれまでにない感染拡大となる可能性があります。

デルタ株については、感染性がアルファ株より1.5倍高い可能性があるとの報告もあり、また、現場からは発熱しやすい、無症状では済まず何らかの症状が出ている人が多いといった声も聞いています。

あらためて、ワクチンをすでに接種された方も含め、マスク着用、人と人との距離の確保、手指消毒を徹底いただくとともに、混雑した場所への移動は避ける、大人数や長時間となる飲食は避けるといった対策をこれまで以上に徹底いただき、発熱があるなど少しでも体調が悪いときは外出を避け、早期にかかりつけ医など、身近な医療機関への相談をお願いいたします。

また四日市市内で変異株が多く確認されていますが、これまでの傾向や、現在の全国的な状況を見ましても、人口が多い地域で特に広がりやすい傾向があります。

四日市市内ばかりでなく、県内での行動においても、人が多い地域、密となるような場面には特に注意をしてください。

(資料を掲示)これが今申し上げましたように、L452R、7月8日から7月18日までの10日間は14%ぐらいだったわけですが、次の7月18日から7月28日までの10日間では51%というように、ここの同じ10日間をとっても、0から14、それから14から51ということで急増しています。

アルファ株の時と比べると、この伸びは緩やかではあるものの、今急激に増えてきているということでありまして、そもそも感染性が高い。ある医療関係者の方が言うには、家族などでも、今までだと徐々に家族が移っていったのが、もう一気に、もう数日のうちにかかってしまう。比喻で、例えば医療関係者が言っていました、黄色信号を飛ばして、青信号からすぐ赤信号になるぐらい、家族とかにすぐうつってしまうというような状況がある、というような例えをされている医療関係者の方もいらっしゃいました。

続いて後遺症についてです。

新型コロナウイルスについては、回復された後も後遺症に苦しまれる事例が多く見られます。本県において実施したアンケート結果によると、退院後でも症状がある方は、約4割、39%で、年代別では30代から50代の方に多く、30代で66.7%、40代で43.5%、50代で55.2%の方が、退院後も症状が続いたとのことでした。

症状では、嗅覚障害が43%と最も多く、続いて咳、倦怠感、味覚障害となりました。また、喉の痛みや息苦しさ、胸の痛みなど、呼吸器系の症状を訴える方もみられました。厚生労働省が行った調査においても、診断後、6ヶ月経過した後に、症状が残っている人の割合は、疲労感・倦怠感が21%。息苦しさ13%、睡眠障害や集中力低下11%、脱毛10%、筋力低下、頭痛、嗅覚味覚障害9%となっています。

現在の県内における感染者は、ワクチン接種の進んでいない50代以下の方が多い傾向にあります。比較的若い世代の方は、感染時には重症化しなくとも、回復後に後遺症という形で影響が残る場合もありますので、若いから持病がないからと油断せず、しっかりと対策をお願いします。

また高齢者接種に続き、若い世代の皆様への接種の機会も広がっていますので、ご自身や大切な方を守るためにも、希望される方は、ワクチン接種の機会を積極的にご活用いただきますようお願いを申し上げます。

(資料を掲示)今申し上げましたように、これ2月に取りまとめたアンケートですが、退院後も症状のある人は4割。特に30代40代50代の方が多いということになっています。

これは県の調査で、嗅覚障害、咳、倦怠感が多いということですが、こっちは国の調査で、6ヶ月後もこういう形で疲労感、倦怠感が残っている方が2割おみえということですので、感染しても軽症で済むんでしょとか、仮にそういうような形でお考えの方がいらっしゃったら、最初はもしかしたら軽症かもしれないけれども、こういうふうに後遺症で悩まれる、苦しまれるケースもある、あり得るということでありまして、ぜひそもそも、まずはやっぱりかからないということが大事ですので、感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。

また繰り返しとなりますけれども、誹謗中傷差別、そういうものについては絶対に行わないでいただきたいと思ひますし、ワクチン未接種の方への差別なども含めてお願いをしたいと思ひます。

三重県で最初の感染者が確認された令和2年1月30日からおよそ1年半が経過し、高い緊張感を維持し続けることが難しくなっている方もいらっしゃるかと存じます。

しかし、デルタ株が増加し、感染すればご家族や友人、職場へと感染を広げるリスクがこれまで以上に高くなっています。またご自身が後遺症で長期間にわたり苦しむ可能性もあります。県境をまたぐ移動をできる限り控えていただくとともに、ご自身の行動において、いつも会わない人と会う場合、普段の仲間であっても飲食をする場合、行き先が混雑している場合など、リスクが高まる場面を意識し、そうした場面を避ける。避けられない場合は、マスク着用、手指消毒など対策を徹底してください。

事業所の皆さんにおかれましては、事業所内の状況を今一度点検して、持ち込まない、広げないため、感染防止対策の徹底をお願いいたします。

県としましてもこれ以上の感染拡大にならないよう、感染防止対策とワクチン接種を両輪として取り組んでまいりますので、一緒に取り組んでいただきますようお願いを申し上げます。

呼びかけは以上です。